

市長	副市長	部長	課長	参事	課長補佐	係長	記録

【所属名：市民部環境生活課】
【会議名：糸魚川市交通安全対策会議】

■開示
一部開示 (理由:条例第 条第 号 該当)
不開示
時限不開示 (開示: 年 月 日)

会議録

作成日 令和7年2月26日

日	令和7年2月14日(金)	時間	10:30 ~ 11:40	場所	市民会館3階会議室
件名	令和6年度糸魚川市交通安全対策会議				
出席者	【出席者】(以下、敬称略) 米田 徹、松本 剛、鍋倉 章宏、細井 達彦、湯上 勝弘、小島 隆広(代理出席)、白井 直也、渡邊 元(代理出席)、比護 泰子、鶴本 修一、武藤 悟、星野 剛正、長崎 英昭 【欠席者】 古川 勝哉 【事務局】環境生活課 木島 美和子、赤野 裕子、土沢 修栄 【説明者】糸魚川警察署交通課 柳 昭平				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	0人

会議要旨

- 開会
- 会長あいさつ
- 自己紹介
- 令和6年中の交通事故発生状況について(糸魚川警察署交通課長)
 - ・昭和29年以来の死亡者0。ひとえに警察の力だけではなく、皆さん1人ひとりの心がけにより達成できたと感謝。
 - ・昨年度、事故発生件数は34件と減少したが今年に入ってペースが速い。昨年1月は1件しかなかったが、今年は既に4件発生。
 - ・南寺町3丁目の交差点(ひすい食彩館前)の車と横断歩行者の事故が多い。
 - ・市内の事故はほぼ国道8号で発生。
 - ・高齢者事故が多い。全34件中、高齢者が関係する事故が約47%。ただ今年は上越や妙高に比べて減っている。

5 議題

① 令和7年度系魚川市交通安全実施計画（案）について

【提案内容】

令和6年中の交通事故発生状況と令和6年度の交通施策実績並びに令和7年度計画について

【質疑】

なし

② 交通安全実施計画の作成について

【提案内容】

交通安全対策基本法の一部改正に伴い、令和7年度から「交通安全実施計画」の作成を廃止することについて

【質疑】

（委員）

- ・安全対策が後退するのではといったイメージを持つ。交通事故発生件数は、年々減少しており、毎年作らないといけないということでもないし、事務の合理化も必要。他の市町村でそうして回っているのであればそれでもいい。
- ・5年計画と単年度計画の違いがよく分からない。
- ・実施計画は単年度計画のため分かりやすい。系魚川市独自なものとしてこれを5年計画の中に入れてられないものか。
- ・作成の手間を考えれば、行政改革の観点から排除していくという考えも必要。
- ・時代の流れなので、作成しない県内20分の15に加わるのもありかと思う。

（事務局）

- ・5年計画は施策の大綱を示したもので、単年度計画は当該年度の実績と翌年度計画を交通情勢や財政状況などの市町村の実情に応じて作成するもの。
- ・会議にお集まりいただく委員の負担軽減の部分もあるし、計画を作成する時間を現場での交通安全対策に割けるといふメリットもあり、そのような観点から提案させていただいた。
- ・現状と課題、5年間の推移というような形で入れることは可能。
- ・単年度計画は廃しても、交通安全対策の推進の気持ちは失うことなく、5年計画の内容の充実を図っていきたい。どういう形が望ましいのか、他市の事例も踏まえ研究する。

（会長）

- ・5年に一度というと長スパンという感覚だが、逆に実施計画のきめ細やかな部分も捨てるのがたい。一気に変わるのでなくて少し様子見ながら、うまく織り込んでいく工夫をしてみしてほしい。
 - ・今言われたご意見や他市の動向を踏まえ、皆さんにお示しできるような形を少し検討させていただきたいと思うがよろしいか。
- 一同、異議なし。

6 その他

(委員)

・自転車のヘルメットの重要性を皆で共有し、それぞれの職場に帰って注意喚起をお願いしたい。交通事故はお互いが犠牲者になる。糸魚川市はヘルメットの購入に補助金を出したりしてヘルメット着用を啓発しているが、今年度も何とか着用が増えるようにしてもらえればと思う。

(会長)

ヘルメットもファッションになってきて、いろんなタイプが出てきている。警察のお力を借りて取締りや指導をしていただければありがたい。言われるように、1度起きたら不幸な事故になるわけであり、強化キャンペーンなど、継続して皆様と連携をしながら、また教育委員会とも一緒になって強調週間みたいなものを設定するなど、新年度に取り組んでいただければありがたいと思う。

(委員)

※持参いただいた資料に基づき、高速道路における事故状況の説明がなされる。

・今年2月上旬に大雪のため国道との同時通行止めを実施。中日本と言われる名古屋圏、西日本の大阪圏で広域に通行止めが実施され、北陸道が迂回路となり交通量が増加することの懸念から新潟県内全域を通行止めにした。来週の17日以降も強い寒気が来る予報で、同じような同時通行止めが発生する可能性がある。

・全国の高速道路で逆走事故が増加傾向にある。令和2年に大きな対策を打った効果も出てかなり減少したが、令和5年は全国で224件発生。ほぼ毎日、発生している状況。

・65歳以上の高齢ドライバーの方が非常に多く、約7割を占める。要因としては、高齢ドライバーの場合、過失であっても逆走の認識を持っていないことが多く、認知症の疑いがあるといった人がほとんど。

・故意の場合、降りたいと思ったインターを過ぎてしまったのでUターンするという事例が多い。

・サービスエリアやパーキングエリアの分かりにくい所では標識であったり、路面標示を見えやすくして逆走防止対策を図っている。

・逆走車はほぼ追い越し車線を走ってくる。日頃から走行車線を走っていただくようにしてもらいたい。

(委員)

東日本高速道路株式会社の先日の大雪に伴う高速道路通行止めについて、おそらく夜の9時に止めたかと思うが、具体的な話をもらわない中、30分ぐらい前に連絡が入ってきたため、対応に混乱をきたした。住民等に周知する関係もあり、早めの情報提供をお願いしたい。

(会長)

交通事故といえばいいのか、災害なのか、マンホールや水道管事故の懸念から、道路管理者ではないが、この会議のメンバーにガス水道局を加えてもらいたい。当市は地形的に心配ないのかもしれないが表面的には分からない。

7 閉会